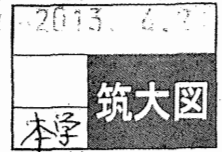


# 障害科学研究

2013年3月29日発行

第37巻



- 原著**
- 1 原 著  
大山 歩美・小林 秀之・森 まゆ：  
小・中学校において弱視児が感じる困難とその対応  
—教科学習に着目して—
- 13 青木 真純・室谷 直子・増南 太志・松沢 晴美・高野 知里・岡崎 慎治・前川 久男：  
就学後に学習のつまずきが予想される幼児に対するCOGENTプログラムを用いた  
指導の効果
- 27 相羽 大輔・河内 清彦・柿澤 敏文：  
移動、読み、書きに関する援助要請課題における弱視学生の支援ニーズ、  
援助要請意図、個人要因の関連について
- 39 濱田 香澄・岡崎 慎治：  
動物絵を用いたストループ課題遂行時の前頭前部における  
脳血流の変化からみた干渉抑制機能  
—定型発達成人による検討ならびに小児の予備的検討—
- 資料**
- 57 安藤 隆男・池田 彩乃・甲賀 崇史・大木 慶典：  
特別支援学校（肢体不自由）における地域支援体制の現状  
—特別支援教育制度施行以前との比較から—
- 65 左藤 敦子・池田 彩乃・安藤 隆男・四日市 章・藤原 義博・長崎 勤・  
間々田和彦・日高 雄之・吉沢 祥子・佐藤 孝二・野村 勝彦・沼澤 聡子：  
国際教育協力事業における教育実践を基盤とした研修プログラムの構築  
—ボリビア多民族国研修生を対象とした事例を通して—
- 77 森 まゆ・小林 秀之・青松 利明：  
点字出版所の技術者における触図作製の工夫に関する実態調査
- 91 一木 薫・安藤 隆男：  
実施した指導の振り返りによる設定された指導目標・内容の妥当性の検討  
—自立活動を主とする教育課程を履修した卒業生の指導について—
- 103 原口 英之・野呂 文行・神山 努：  
保育所における特別な配慮を要する子どもに対する支援の実態と課題  
—障害の診断の有無による支援の比較—
- 115 藤井 和子・内地留学経験のある新潟県言語障害通級担当教師の現職研修の実態と課題
- 129 岡 典子・佐々木順二・中村満紀男：  
大正12年盲学校及聾啞学校令の教育の質の改善に対する効果  
—公布前・後の実態比較に関する研究構想—
- 145 吉井 涼・J. E. W. ウォーリンによる心理教育クリニックの創設と個別的ニーズへの対応  
—20世紀初頭セントルイス市公立学校を中心に—
- 159 阪本 悠香・佐島 毅：  
盲児用触探索教材としての平面空間上における  
玉落とし課題の有用性と手指探索行動の変化
- 169 甲賀 崇史・安藤 隆男：  
国立久里浜養護学校の設置過程  
—「実験教育研究施設」から「養護学校」への転換—
- 183 牟田口辰巳：熟達者の点字読みにおける手の使い方に関する研究  
—画像解析による非読書時間と同時読みの検討—
- 197 高野 聡子：初期八幡学園における入所児の障害と教育・保護の内容  
—昭和7（1932）年～昭和12（1937）年を中心として—
- 213 五味 洋一・野呂 文行：  
自閉症スペクトラム障害児における相互依存型集団随伴性のもとで  
付随的に生じる問題行動の分析
- 実践報告**
- 225 衣笠 広美・岡山 繁樹：  
知的障害のある重度自閉性障害幼児の要求行動形成に伴う共同注意の発達



障害科学学会

- Original Articles**
- 1 Ayumi OYAMA, Hideyuki KOBAYASHI and Mayu MORI  
Elementary and Lower Secondary School Students with Visual Impairments Cope with School Difficulties  
— Focus on Learning School Subjects —
- 13 Masumi AOKI, Naoko MUROYA, Taiji MASUNAMI, Harumi MATSUZAWA, Chisato TAKANO,  
Shinji OKAZAKI and Hisao MAEKAWA  
The Efficacy of the COGENT Program in Pre-school Children with High-risk for Learning Disabilities
- 27 Daisuke AIBA, Kiyohiko KAWAUCHI and Toshibumi KAKIZAWA  
Relationships among Support Needs, Help-seeking Intentions and Personal Factors of Students with Low  
Vision in Help-seeking Concerning Mobility, Reading and Writing
- 39 Kasumi HAMADA and Shinji OKAZAKI  
Inhibitory Control for Interference during Stroop Task with Animal Picture from Cerebral Blood Flow in  
Prefrontal Area  
— Investigation in Typical Developmental Adults and Preliminary Study in Children —
- Brief Notes**
- 57 Takao ANDO, Ayano IKEDA, Takashi KOHGA and Yoshinori OKI  
Present Condition and Problems on Regional Support in Schools for the Physically Challenged  
— A Comparative Perspective from a Change Before and After Special Needs Education System —
- 65 Atsuko SATO, Ayano IKEDA, Takao ANDO, Akira YOKKAICHI, Yoshihiro FUJIWARA,  
Tsutomu NAGASAKI, Kazuhiko MAMADA, Takeyuki HIDAKA, Sachiko YOSHIZAWA,  
Koji SATO, Katsuhiko NOMURA and Satoko NUMAZAWA  
Programs based Educational Practices in International Education Cooperation  
— Case Study of Plurinational State of Bolivia —
- 77 Mayu MORI, Hideyuki KOBAYASHI and Toshiaki AOMATSU  
Survey on the Production Method of Tactile Graphics by Technicians of Braille Publishing House
- 91 Kaoru ICHIKI and Takao ANDO  
The Examination of Appropriateness of Setting Learning Targets and Contents by Reflecting on Lessons  
for Children with Profound and Multiple Learning Difficulties at School  
— Lessons in JIRITSUKATSUDOU Course for Graduates from Special Schools —
- 103 Hideyuki HARAGUCHI, Fumiyuki NORO and Tsutomu KAMIYAMA  
Current Issues of Special Support for Young Children with Special Educational Needs in Nursery School  
— Comparison of the Support by the Existence of Diagnosis of Disabilities —
- 115 Kazuko FUJII  
Realities and Issues of On-the-Job Training: For Resource Room Teachers for Speech Disorders With  
Domestic Exchange Experience in Niigata Prefecture
- 129 Noriko OKA, Junji SASAKI and Makio NAKAMURA  
Conception of Study on the Imperial Decree on Schools for the Blind and Deaf of 1923 and Its Effects on  
the Educational Improvements among the Schools for the Blind and the Deaf
- 145 Ryo YOSHII  
Historical Study on the Treatment for the Pupil's Individual Needs by J. E. W. Wallin in the St. Louis  
Public School Psycho-Educational Clinic
- 159 Yuka SAKAMOTO and Tsuyoshi SASHIMA  
The Usefulness of the Ball Dropping Activity and the Changes of the Exploratory Behavior on a Horizontal  
Plane in Children with Blindness
- 169 Takashi KOHGA and Takao ANDO  
Process of Setting Up The National KURIHAMA School  
— Change from “The Research Facility for Experimental Education” to “School for Handicapped” —
- 183 Tatsumi MUTAGUCHI  
Hand Movements in Braille Reading by Skilled Readers  
— Investigation of Non-reading Time and Simultaneous Reading Using Image Analysis —
- 197 Satoko TAKANO  
The Classification of Feeble-mindedness and the Contents of the Education and Care in Yawatagakuen for  
the Institution for Feeble-minded Children, 1932-1937
- 213 Yoichi GOMI and Fumiyuki NORO  
Application of Interdependent Group-oriented Contingency and Analysis of Collateral Occurrence of  
Problem Behavior of Children with Autistic Spectrum Disorder
- Practice Report**
- 225 Hiromi KINUGASA and Shigeki SONOYAMA  
Development of Joint Attention during Request Behavior Training for a Young Child with Severe Autism  
and Mental Retardation

編集委員長	園山 繁樹 (筑波大学)			
編集委員	安藤 隆男 (筑波大学)	尾崎 久記 (茨城大学)		
	柿澤 敏文 (筑波大学)	佐島 毅 (筑波大学)		
	竹田 一則 (筑波大学)	柘植 雅義 (国立特別支援教育総合研究所)		
	中村満紀男 (福山市立大学)	生川 善雄 (千葉大学)		
	野呂 文行 (筑波大学)	前川 久男		
	四日市 章 (筑波大学)			
審査委員	安藤 隆男 (筑波大学)	池谷 尚剛 (岐阜大学)		
	浦崎 源次 (群馬大学)	大内 進 (国立特別支援教育総合研究所)		
	岡 典子 (筑波大学)	尾崎 久記 (茨城大学)		
	柿澤 敏文 (筑波大学)	蒲生 俊宏 (日本社会事業大学)		
	河合 康 (上越教育大学)	河内 清彦 (筑波大学)		
	川間健之介 (筑波大学)	菅野 和恵 (筑波大学)		
	熊谷 恵子 (筑波大学)	小島 道生 (岐阜大学)		
	小林 秀之 (筑波大学)	小林 宏明 (金沢大学)		
	佐々木順二 (九州ルーテル学院大学)	佐島 毅 (筑波大学)		
	左藤 敦子 (筑波大学)	真城 知己 (千葉大学)		
	園山 繁樹 (筑波大学)	大六 一志 (筑波大学)		
	竹田 一則 (筑波大学)	田中 良広 (国立特別支援教育総合研究所)		
	長崎 勤 (筑波大学)	中田 英雄		
	中村満紀男 (福山市立大学)	中山 哲志 (東京成徳大学)		
	生川 善雄 (千葉大学)	野口 幸弘 (西南学院大学)		
	野呂 文行 (筑波大学)	原島 恒夫 (筑波大学)		
	肥後 祥治 (鹿児島大学)	藤原 義博 (筑波大学)		
	細川かおり (東京福祉大学)	前川 久男		
	松岡 勝彦 (山口大学)	牟田口辰巳 (広島大学)		
	八重田 淳 (筑波大学)	柳本 雄次 (常葉学園大学)		
	山中 克夫 (筑波大学)	結城 俊哉 (筑波大学)		
	四日市 章 (筑波大学)	米田 宏樹 (筑波大学)		
	渡部 匡隆 (横浜国立大学)			
	編集幹事	加藤 靖佳 (筑波大学)	任 龍在 (筑波大学)	

## 障害科学研究

第37巻 (2013, Vol. 37)

平成25年3月29日発行

編集 障害科学学会 編集委員会

発行 障害科学学会 会長 中村 満紀男

発行所 障害科学学会  
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学人間系障害科学域内  
FAX 029(853)6504  
e-mail adsj@human.tsukuba.ac.jp

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店  
〒305-0033 茨城県つくば市山中152-4  
電話 029(875)6696

## 投稿規定

1. 本誌は、障害科学学会の機関誌であり、年1巻発行する。なお巻号は前身の雑誌である「心身障害学研究所」を引き継ぐものとする。
2. 本誌の執筆者は障害科学学会会員に限る。
3. 本誌の編集は、障害科学学会編集委員会の責任のもとに行われる。
4. 本誌には未公開の和文または英文で書かれた障害科学に関する「原著論文」、「資料論文」、「短報」、「展望論文」などオリジナルな学術論文、実践報告会等でモデルとなりうるような「実践報告」のほか、編集委員会が認めた論文等を掲載する。
  - (1) 原著論文は、理論、実験、事例、実践等に関する研究論文とする。
  - (2) 資料論文は、原著論文に準じた内容で、資料性の高い研究論文とする。
  - (3) 短報は、研究成果の速報や一次的な報告とする。
  - (4) 展望論文は、障害科学に関係のある課題について、内外の諸研究の成果を概観し、総合的に展望した研究論文とする。
  - (5) 実践報告は、実践報告会、事例研究会等でモデルとなりうる報告とする。
5. 論文は、査読委員によって審査され、編集委員会において、その掲載の可否が決定される。
6. 規定枚数を超過したもの、および図表、写真等の製版・印刷等、特に費用を要するものは、別途執筆者の負担とする。
7. 別刷りは執筆者の負担とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は障害科学学会に帰属し、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 投稿論文の内容について、十分に人権および倫理上の配慮がなされていなければならない。

## 執筆規定

1. 原稿の仕様 原則としてワープロを用い、A4判用紙に25字×32行（800字）で印字された原稿を提出すること。A4判用紙の原稿2.5枚は刷り上がり1頁に相当する。和文では、本文、文献、図表、要約をすべて含めた論文の刷り上がり頁数は、原著論文、資料、実践報告、展望は10頁を上限とする。英文では、本誌8頁（approximately 550 words per page; including Abstract, References, Tables, and Figures）を上限とする。また、短報は和文で5頁、英文で4頁とする。これを超過する論文については、編集委員会で掲載の可否を決定する。
2. 提出原稿 原著論文・資料ともに、オリジナル1部とコピー2部を添えて提出すること。また提出原稿はA4判とし、表紙には和文表題、英文表題、執筆者名、代表者の連絡先（電話番号を含む）を明記すること。なお、論文採択後には電子ファイルを提出する。
3. 図表など 白紙に黒色インクで明瞭に書かれたものを用い、写真を用いる場合は鮮明なものを提出すること。表や図の番号はTable 1, Fig. 1のように記入し、表題、説明ともに一括して別紙に記載すること。また、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 和文要約 和文論文および英文論文には、問題、方法、結果、結論の概要をほぼ把握できるように、和文で400字以内の要約と3～5項目の和文キーワードを本文とは別葉にて提出すること。
5. 英文要約 和文論文および英文論文には、英文表題、200～300ワードの英文要約、3～5項目の英文Key Wordsを本文とは別葉にて提出すること。
6. 表記 新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際にだけ原語を付す。文献は論文の最後にアルファベット順に一括して示すこと。雑誌文献記述の形式は、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻数、論文所在頁の順とし、単行本文献記述の形式は、著者名、発行年、書名、出版社、出版地の順とする。
7. 註 必要がある場合は、本文中に1)、2) …のように上付きの通し番号で註を付し、すべての註を本文と文献欄の間に番号順に記載すること。
8. 印刷形式 印刷の体裁は編集委員会に一任する。
9. その他 執筆に関する詳細は、日本特殊教育学会の『「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引き』と、最新の特殊教育学研究英文特集号の表紙裏Information for Contributorsに従うこと。